令和 8 年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立第十四中学校 校長 渡邊 英晴

1 学校教育目標

・進んで学ぶ人
・礼儀正しい人
・やりとげる人

2 学校図書館３つの役割について

重点取り組み（◎）	（　　）読書センター	（ ◎ ）学習センター	（　　）情報センター
現状の課題	・昨年度貸出冊数は年間5,420冊、来館者数は8,668人だが、月による変動がある。 ・一部の読書好き生徒に利用が固定化されている。	・授業活用が年間108回と活発だが、活用教科（社会・家庭・国語・総合）に偏りがある。 ・より高度な探究学習への対応が求められる。	・ネット情報の不確かさを感じる生徒は増えたが、図書資料からの情報の引き出し方に差がある。 ・書架の並びが一部わかりにくい箇所がある。
今年度の目標	・季節ごとのイベントや広報を強化し、来館者層を広げる。 ・図書委員会による紹介活動を活性化させる。	◎全教科・全学年において、図書館資料を活用した「主体的・対話的で深い学び」を推進する。	・情報の取捨選択能力を育てる指導を充実させる。 ・必要な資料に自力でたどり着ける配架の工夫を行う。
重点取組	・「Library News」やおすすめ本紹介の継続。 ・「お話給食」や季節企画（ハロウィン等）の実施。	◎学校司書との連携による、全教科への授業支援の打診。 ・スーパーバイザーによる指導・助言を受けた授業改善。	・調べ学習用資料（0～8類）の計画的な更新と廃棄。 ・「調べ学習の進め方」の掲示やガイダンスの実施。
成果目標（達成基準）	・貸出冊数：前年度比10%増を目指す。 ・一冊も借りない生徒の低減。	・図書館を活用した授業回数：年間100回以上。 ・未実施教科での活用事例を1件以上つくる。	・「調べ学習」での図書資料活用満足度（アンケート）の向上。・学校図書館を使った「調べる学習コンクール」への応募。
達成状況（年度末に記載）			

3 図書館運営計画

	読書センター	学習センター	情報センター
日常的な取り組み	・朝読書時間の確保と環境作り。 ・新着図書の迅速な展示と案内。	・各学級の使用計画表の作成・共有。 ・司書による授業用資料の事前準備	・新聞複数紙の配架と管理。 ・タブレットと本を併用しやすい学習環境の維持。
主な行事の取り組み（図書委員会含む）	・読書月間のイベント実施。 ・図書委員によるブックトークやPOP作成。	・社会科「旅行雑誌作り」や「平和学習」等でのプレゼン支援。 ・国語科「ビブリオバトル」の実施。	・新入生および教職員へのオリエンテーション。 ・「調べる学習コンクール」参加への呼びかけ。
環境整備の取り組み	・R8年3月からの「新レイアウト」の効果検証と微調整。 ・新調した大型机や椅子の有効活用。	・新調した大型机を活用し、タブレット端末と図書資料を併用してグループワークやプレゼン準備ができるワークスペースの確立。	・見出し板やサイン（3桁分類等）の刷新。 ・新聞等の閲覧コーナーの充実。
司書・外部との連携	・公共図書館からの団体貸出（家庭科「五大栄養素」等）の継続活用。	・学校司書と教科担任の「報・連・相」の徹底。	・区立図書館とのネットワーク活用。 ・地域ボランティア等との連携模索。

実践の評価（年度末に記載）

4　学校図書館を使った「調べる学習」年間計画（教科別）

教科	内容（学年「単元名」）	結果	内容（学年「単元名」）	結果
国語	2年「魅力的な提案をしよう」		2年「情報を整理して伝えよう」	
	2年「国語の学びを振り返ろう」		3年「ビブリオバトル」	
	3年 「俳句の可能性」			
社会	地理「世界地理」		歴史「戦国大名調べ」	
	公民「現代社会」			
理科	2年「生物について」			
	3年「科学技術と人間」			
体育	1年「心身の健康」		2年「生活習慣病とその予防」	
	3年「環境の汚染と保全」			
家庭科	1年「私たちの住生活」		2年「私たちの食生活」	
	3年「私たちの成長と家族・地域」			
総合	1年「魚沼自然教室調べ学習」			
	3年「修学旅行調べ学習」			
音楽	1年「西洋音楽史を調べよう」		3年「邦楽について調べよう」	

追記および実践の評価（年度末に記載）

5　学校図書館全体に関する自校の取り組みの評価（年度末に記載）

※各校作成の令和８年度「学校図書館年間計画」の添付をお願いします。